徳地町報

発行所　徳地町役場
発行者　徳地町長　村　上
編集者　徳地町役場　河　野
印刷所　今治印刷所

火の用心と防犯で、明るいお正月を迎えよう

町政一年の回顧

健全財政を目ざして

歩一歩と建設事業進む

昭和三十七年も余すところ十余日となりました。町長は、年頭のことばの中で新庁舎の完成に伴ない、庁内機構の一部を改正して、住民サービスを改善し住民の福祉向上をモットーとするガラス張り町政で、住民の意志を十分吸収察知して、町政に反映するよう努力すると語っていますが、町政の一年（暦年）を省みて、その足跡を考えてみましょう。なお紙面のつごうで、比較的大きな事業、事件のみについて、記述しますので、この点は、前もっておことわりしておきます。

▽　▽　▽　▽　▽

新庁舎の建設

昭和三十年四月一日、徳地町が誕生して以来、多年の懸案であった新庁舎の建設は、文教施設がほぼ一段落した昭和三十六年に、故伊藤町長の遺志を享けつぎ、新庁舎建築に着手していましたが、いよいよ二月三日検収のうえ、二月十二日移庁式が行われ、新庁舎で執務することになりました。

新庁舎は、総工費三、九九三万円で、門司市、高藤建設の手で施工されました。

敷地二、六一七m²（七九二坪）
建物一、六三七m²（四九五坪）

地階一階、地上五階の近代的建物で、新庁舎に移庁してからは、従来の役場機構の一部を改正し、厚生課を廃し、新しく「町民課」を設置し「住民係」「民生係」「保健衛生係」の三係とし、窓口事務の向上改善がはかられました。

なお、このほか物品経理の取扱事務の集中管理を行ない、消費的経費の節減にも努めています。

NHK夏期移動相談は延一万九千の大衆が参加した

八月九・十日の二日間、NHK夏期移動相談が開催されました。

町は、三百年に一回、開催できるかどうかという全国的な大事業として、事前準備を慎重に進めまた、へき地の方々が参加しやすいよう無料バスを運行するなどしました結果、延一万九千人が参加するという、町はじまって以来室前の大盛況でした。

中でも医療相談には、三二八一人という大量参加で、諸先生方も汗ダクで診療に励まれ多大の成果を挙げました。

国民健康保険税の減税きまる

この減税措置は、今年四月一日にさかのぼって実施せられていますが、この税率改正は、十月号町報で報告しましたとおり

1　所得割を1.8/100（旧税率2.2/100）
2　資産割を5/100（旧税率7/100）
3　被保険者均等割、一人につき二四〇円（旧二五〇円）
4　世帯別平等割、四五〇円（旧五〇〇円）

であります。

串中学校の建築竣工

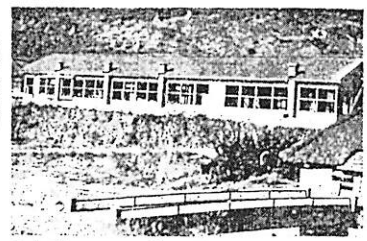
町立串中学校は、昨年よりへき地集会所（県体兼講堂）と、教室の新築工事を進めていましたが、へき地集会所は、三百四十余万円の工費でそれぞれ完成し、四月二十七日竣工式を行ない、へき地の教育を大きく推進できる基盤が完成しました

三谷小学校の改築

町立三谷小学校の改築は、町発足以来の多年にわたる懸案でありましたが、町の一貫した文教政策と地元の方々の尽力が遂に実を結んで、去る八月二十二日、請負施工者、櫛井勇夫氏の施工で起工さ

ました結果、延一万九千人が参加するほど見事竣工しました。

新しい校舎で、将来の私たちの町を背負って立つ、りっぱな人材が、町内各地区から、続々と出てくだされることを、みんなが願っていることでしょう。



島地公民館来春二月竣工の予定

近時、俗に社会教育と呼ばれる分野で、老人、婦人、青年学級など、いろいろの名まえで、いわゆる成人教育の必要性が、世の多くの人々から叫ばれていますが、こうした世相が反映せられ、かねてから島地公民館の建設が町議会で議決されていましたが、さる十一月八日、起工式が挙げられて山口市、守津哲夫一級建築士の設計監督で、延一四六坪、一部二階建の公民館が、地元、藤岡組、藤岡源氏の請負で明春二月完工の予定で着工されています。

また、近い将来は、八坂公民館の建設も考慮されており、学校教育の場である小、中学校の建設は一応一段落というところで、こんどは、成人教育の場である公民館の建設事業を押し進め、公民館活動を通じて、社会教育の面に特に力を注ごうというわけです。

町営火葬場の新設

町の古来からの因習といえばいえましょうが、施設、設備の無いことも根本原因でしょうか、古来から土葬の風習がほとんどですが以前から有識者の間では、町営火葬場の新設がさけばれていました

そこで、町においては、環境浄化の一環施策として、いよいよその実施に踏み切り、目下その取付道路の施工中ですが、おそくとも明春には、重油バーナー式の火葬炉の新設が終りましょう。

道路、橋梁等

交通施設の新設、改良

町道の新設、改修については、中でも大久保―湯野線を改修し、藤木部落の通学バス運行が計画され、その一部は施工中であります。

また、小古祥～中河内間は、すでに改修を終り、十一月一日から防石バスの運行が開始されました

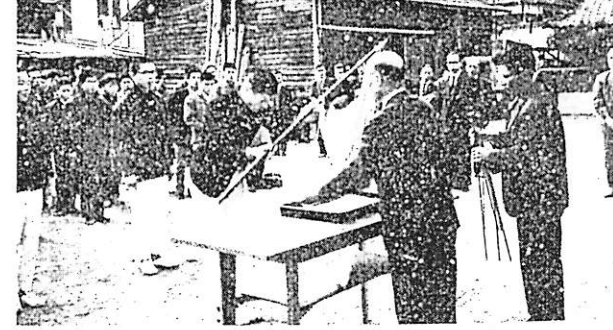
橋梁については、十年計画で木橋を全部永久橋に切りかえる計画で、今年も、門前橋その他数件の施行を終っています。

八坂地区に消防自動車を設置

八坂地区に消防自動車の購入設置については、以前から地元分団をはじめ地区より要望が多かったので、購入交付を決定していましたが、購入に当っては、全町民の方々に応分の御協力をいただき多大のご寄附をいただきました。

いずれその明細を発表して、お礼を申しあげることにしていますが、ここでは、消防自動車購入事業の報告のみに止めます。

これらの諸事業を推進するに当っては、健全財政を建前とし消費的経費の節約につとめながらも町民福祉の増進と生活の安定向上を根本理念とし、あわせて農業構造の改善問題など当面する問題と五十年先の未来像を考慮しながら地道に着実な歩みをしております。



中学校の部1位で町長より優勝旗を受ける八坂中選手

事故なく好成績だった

第8回駅伝競走

第八回、徳地町駅伝競走は、十二月一日（土）午前十前、中央公民館前をスタートし、中学校五チーム、青年五チーム、佐波高校が二チームの計十二チームの若人たちが、三三、二キロを力走、はを競いました。

当日の成績は

中学の部
優勝、八坂中、二位が堀中
三位は島地中の順でした。

青年の部
一位、出雲青年団、二位、八坂青年団、三位、島地青年団の順

高校の部は、佐波高Aチームが一位の成績でした。

なお、今回の駅伝で、みんなが「お世話になった」と感じたことは、沿道町民の心一しお感じたことは、沿道町民の方々が、どこの選手に対しても心からの声援を贈られたことと、逆手諸君が最後まで、正々堂々と力を競い、且つ何等の事故も無かったことで、来年に国体をひかえた県民の一人として、みんなが、それぞれの立場で、たいへんりっぱだったといえます。

この精神で、来年の国体を、県民一致の推進で、どこにも負けないりっぱなものにしたいものです

◎乗物、劇場などで大声でさわぐ
◎酔っぱらって、人にからむ
◎公園の草花や樹木をいためる
◎婦女子へのいたずら
◎消路、河川へのゴミ捨て
◎禁止場所での禁煙
◎列の割り込み

など、数え切れないほど、たくさんあります。

とうした、迷惑をかける人たちは、他人の気持ちなど全く考えないのですから、くり返して行ないがちです。

そこで、多くの人の目で見守り、迷惑行為を許さないという強い態度が必要だといえます。

警察でも、悪質のものには、いろいろの法規を活用して、強い取締りでのぞむことにしています。

人に迷惑をかけない運動

私たちは「迷惑なことだ」と感じながらも、まあまずかなことだからと、とかく見て見ないふりをすることがありますね。

しかし、たとえわずかなことでも、迷惑をかけていることを放任していては、いつまでたっても住みよい、明るい世の中を作ることはできません。

来年は、山口県で国体が開かれます。オリンピックの前年度の国体だけに、全国の人々から注目されていますし、この国体には、多くの選手や関係者が来県します。

気持ちのよい、明るい国体を迎えるためにも、お互いが注意あって、他人に迷惑なことをしないさせないことが、ぜひ必要なことです。

とうしたことから、山口県防犯連合会、山口県警察本部では十二月二十日から「迷惑をかけない運動」を関係機関の協力で、全県民運動として、進めることになりました。

では、人に迷惑をかける行為とは、どんなことでしょうか。

いくつかの例をあげますと

◎酔っぱらって大声でさわぐ
◎公園の草花や樹木をいためる
◎婦女子へのいたずら
◎消路、河川へのゴミ捨て
◎禁止場所での禁煙
◎列の割り込み

など、数え切れないほど、たくさんあります。

とうした、迷惑をかける人たちは、他人の気持ちなど全く考えないのですから、くり返して行ないがちです。

そこで、多くの人の目で見守り、迷惑行為を許さないという強い態度が必要だといえます。

警察でも、悪質のものには、いろいろの法規を活用して、強い取締りでのぞむことにしています。

いつせいネズミ駆除運動

12月1日から1月31日まで

山口県下で一年間のネズミの被害は、約十五億円といわれます。

これで、十坪半の住宅を建てれば、六千戸の家が建つ勘定になります。

12月1日～1月31日まで、県下いっせいにネズミ鼠除運動が行われますが、町では、この期間中を限り、殺そ剤三〇円を半額補助して十五円で取りつぎます。

なお、例年のとおり、ネズミくじも発行されます。

部落ぐるみ、地区ぐるみで、ネズミ取りに努めましょう。

十二月一日から

助産費二千円が給付されます

先般議会で決った助産費の増額給付（二千円）が、十二月一日から始まりましたので、おしらせします。

県立防府中央病院の外来患者受付時間変る

山口県立、防府中央病院では昭和三十八年一月一日から、外来患者の受付時間を

午前八時三十分から
午前十一時三十分までとすることになりました。

なお、日曜、祝日は従来どおりですので、申しそえます。

遺族年金、公務扶助料などの失権届はお早く

遺族年金、公務扶助料、恩給などを受けておられた方で、死亡および成年（満二十歳）に達したなどの理由で、受給の権利が無くなった場合は、速かに失権届をお出しください。

失権届の用紙は、各郵便局にあります。

まだすんでない方もお早く手続きをしてください。

昭和三十八年一月十五日

成人式を行います

来年一月十五日の成人式のお祝いを受けられる方は、昭和十八年一月一日から、同年十二月末日までの間の出生者で、徳地町に住民登録している方が該当されますので、まだ住民登録のすんでいない方がありましたら、早く手続きをしてください。

量よりも真心こめた贈り物

歳末助けあいにご協力を

道行く人々の足どりも、おのづから早くなるような年の暮は、ボーナスや米の売渡代金などで、神武景気とまではいかなくとも、懐ぐあいも温まり、町も村も歳末大売出しなど、歳末景気をあふつています。

しかし、生きた現実の社会には中日の当らない陰もあるように私たちの周囲には、案外日の当らない場所に住む人々、すなわち恵まれない人々もたくさんあります。

現在、町内で生活保護を受けておられる方が約二二七人あります。

昨年の「歳末助けあい運動」では、現金四万四千九百七十三円米三石一斗二合、その他の物品がたくさん寄せられ、皆さんの温いこの贈物で、たいへん喜んでいただきました。

今年も十二月中、全国いっせいに「歳末助けあい運動」が行われております。

明るい社会を築くためには、恵まれない人々への謙虚な温かい思いやりと、共に手を取りあってお互いが助け合いの気持ちをもって新しいお正月を迎えるよう、努力したいものですね。

清い温かい気持ちで贈られるものなら、たとえポケットの底ではこりをかぶった一円でも結構です

また小さくなって着られない洋服や、おぞうにの餅一つでも、また「おもらや」や絵本など、お互いが無理せずに、ちょっとした気持ちだけでも出しあえば、たとえ初めは小さいものでも、集まれば大きな力となり、恵まれない人々を立上らせる大きな力となりこの人々を元気づけ、「来年こそ」と立上らせる役目を果すことにもなります。

助けあい運動を私たちお互いのものとしてよりいっそう盛りあげていくためにも、私たち自身で手がるくできることを真心こめてしたいものです。

今年の稲作は、台風や病虫害の異常発生もなかったので、引続き豊作の秋でした。

農家の皆さんは、平素の労苦が報いられ、お喜びのことと存じます。農協への出荷も順調に進んでおり、各地区とも完全に予約数量を突破しています。

特に本年は、酒米の増産が目立つてきたことは、本町が酒米産地として、大いに今後の躍進が期待せられるわけで、誠にご同慶のいたりです。

尚まだ未出荷の方がありましたら、年内は全部出荷されて、さつぱりした気持ちでお正月を迎えましょう。

ご協力を感謝いたします。

産米出荷一〇三%

目だつ酒米の増産

地区＼種別	予約数量	うち米	もち米	酒米 雄町	山田錦	旭	かれん錦	計	%
	俵	俵	俵	俵	俵	俵	俵	俵	
出雲	12.200	6.874	124⅝	3.637	2.032	132⅝	28	12.828	105
島地	11.000	8.633	69	1.682	711	14	18⅝	11.128	101
串坂	4.000	3.203⅝	44⅝	382	190	27	170	4.017	100
八坂	9.800	5.368	92	3.438⅝	983⅝	32⅝	196⅝	10.111	102
柚野	3.000	2.702	41	5	455	—	3⅝	3.206⅝	107
計	40.000	26.780⅝	371	9.145	4.371⅝	206	416⅝	41.290⅝	103

栽培的な林業経営に

切りかえが必要だ

めざましい産業の発展と生活の向上にともなつて、木材の需要はたいへん増えています。

この需要に対して、よい供給体制をととのえねばならないことはいうまでもありません。

このため、従来からある生産性の低い林を、生産性の高い人工林に転換するとか、長い間、無理な経営をしたためにおとろえた地力を回復するとか、あるいは林木の品種を改良するなどの施策がおこなわれているのです。

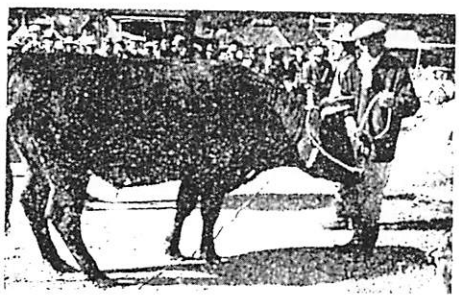
では、これらの施策に対して国や県では、具体的にどのような方法をとつているかと申しますと天然生の林を人工林に転換する場合には、最も優先的に補助造林の対象にとりあげています。

地力の低くなつた林地には、高い率の補助で改良事業を行ないまた一般林地には、肥料を施す林地肥培をすすめます。

星生の造林については、三十七年度からアカシヤ樹を補助対象の樹種としてとりあげ、林木の品種改良については、県の直営で、アカマツの採種園を美東町に、スギヒノキの採種園を「阿武郡むつみ村」に、それぞれ設けて、よい種苗の増産体制をととのえつつあります。

これらのことを要約いたしますと、従来の略奪的林業経営を改めて栽培的な林業経営に切りかえることが何よりも大切なことです。

12月12日、第6回 酒米品評会が開かれ、100点の出品のうち大粒特等に篠原洋さん（八坂）小粒特等に山本良作さん(八坂)ほか1～2等あわせ30名の方が入賞しました



徳地町畜産共進会

種牛の向上進歩

第十回徳地町畜産共進会が、十一月二十一日、堀中校庭で開催され、八十一頭が出品されました。

審査の結果、次の入賞が定まりましたが、今年の特徴は、種牛には向上進歩の跡が見られるが、肉牛は飼育管理が不充分で、将来大いに改善を要する点が多いとのことでした。

種牛、一等（二等以下略す）

みみつの母、永久豊亮氏（八坂）

犢牛、一等

やまもと母、山本定義氏（出雲）

肉牛、一等

さわじや一母、国長正之氏(柚野)

乳牛、一等、メグシルドグロリー、ペンドリーク、田戸邦義氏(八坂)

新しい民生委員きまる

会長に宮本孝道氏

徳地町民生委員会委員は、さる十一月三十日で任期が終りましたので、町では、民生委員推せん委員会の審議を経て、中央に上申中でありましたが、十二月七日厚生大臣の辞令交付、知事の委嘱があつて正式に民生委員として、次のお顔いいたします。

（敬称、住所、職業、担当区域など略さしていただきます）

出雲地区

植木恭夫、田中滋、山本忠夫、宮木孝道、藤本経雄、今田晴子、山木岡二、河野寿彦、堀田就三郎、長松マツエ、田坂義雄

八坂地区

末永ツヤ子、山本清子、藤本彦夫、伊藤治雨、松村幸正、田戸順一、田中武見、戸田岸重稔、原田貞子、河村重松、原光義、山本源一、村田寿雄、河村菊恵

柚野地区

木村勝、賀屋常雄、山本実雄、中村正二、永松君雄、石川頼道、伊藤孝雄、山根直一

島地地区

小田彦治、渡辺哲夫、津室唯人、瀬川正太郎、松原ソノ、牛見泰男、秋山百合江、藤田薫、丸山タケヨ、山田泰子

串地区

三家本康孝、田中ヨネ、平川雅雄、松ヶ[illegible]フジエ

なごやかに一日を楽しむ

連合婦人会の体育祭

婦人会体育祭の八坂婦人会の仮装行列

徳地町連合婦人会（会長戸田岸子さん）では、婦人の体育奨励と地区婦人会相互の親ぼくをはかろうという目的で、さる十一月十八日堀小学校々庭で第三回体育祭を開催しました。

盛りたくさんのプログラムの中で、仮装行列には、各地区とも趣向をこらし、愉快な一日を過しました。

近時、婦人会の方たちは、婦人会活動の一環として、生活改善や環境衛生活動は申すにおよばず国民年金、敬老会の世話に至るまで、多彩な活動をしています。

その反面、婦人会は、活動分野の広い割合に経済面では、不過の立場にあるようです。

国民の半数以上を占める婦人の進歩向上を願うのは、たれしも同じことでしょう。

現行法上は、困難な問題でしようが、婦人活動が、思いどおりできるように、何とかよい方法を考えてあげたいものですね。

歳末の防犯と交通事故に注意を

冬の日は短かく、特に年の暮は、あわただしく、道行く人も何となく首をちぢめて、前かがみになつて急いでいます。

こうしたとき、いろいろの犯罪や交通事故などが、起りがちです

そこで、私たちの一人々々が犯罪の被害にかからないよう、カギの設備や戸締りを完全なものにするなどの工夫が大切です。

また、痴漢や通はきの被害にかからぬためには、夜の一人歩きをさけるとか、暗いところをさけて明るい通りを通るようにするなど各人の心構えが大切です。

もし、万一不幸にして被害にかかつた場合、現場をそのまま保存しておいて、早く警察に届けてください。

また、歳末には、交通事故も増えてきます。

忘年会などで、酒を飲む機会も多くなりますが、飲酒したときは絶対に車の運転をしないことです

めいてい運転について恐しいのは無免許運転です。

無免許者か飲酒をとるため路上で自動車運転の練習をするのに事故を起すもとになります。

町内でも、こうした例もありますので、厳重に注意して、町内の明るい中に、楽しいお正月を迎えたいものです。

地域森林計画

十二月末に公表

森林法の規定によつて、県では昭和三十八年度から五カ年間の地域森林計画を作ることになつています。

最近は、国の経済の発展に伴なつて、木材の需要が増え、また生産力も大きい木から、次第に小さい木へと移り、この傾向は将来もなお続くものと予想されています

地域森林計画は、現在の森林資源の状態と、伐採の増加による関土の保全を十分に考えながら、伐採造林、林道、治山などの林業施策を積極的におしすすめようとするものです。

それによつて、山村の経済をおこし、農家の所得をふやすことを目的としています。

従つて森林所有者の方には、最も関係が深く、この計画に従つて林業を行なうよう示されています

知事はこの計画が守られていない場合には、森林所有者に勧告することができるようになりました

この計画は、今年十二月末に公表されますので、役場などでごらんになつて、意見のある方は遠慮なくお申しでてください。

意見書の受付期間は、公表のあつた日から、三十日間ですがくわしいことは、三十日間ですが、または、林業改良指導員にお尋ねください。

町社協へ寄附

徳地町八坂字上八坂、山本知恵子さんは、亡夫、故山本卓也氏（八坂支所長）の香典返しの一部として、金一万円也を町社協へ寄附されました。

ありがとうございました。

編集後記

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

いよいよ歳末もおし迫り、何かとお忙しいことでしょう。

今年もできるだけ、町民皆さまのお役にたつ「徳地町報」を作ろうと努力はいたしましたが、一年をふりかえつてみると、まさに冷汗三斗というところでした。

来年は、さらに研究努力して町と町民を結ぶベルトの役を果すよう励みたいと思います。

最後に皆さまがお元気で新春を迎えられるよう祈りながら、あわせてご協力を感謝します（K生）